

平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成 23 年 2 月 4 日

上場会社名 日神不動産株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 8881 URL <http://www.nisshinfudosan.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名） 神山 和郎
 問合せ先責任者（役職名）取締役兼執行役員専務（氏名） 藤岡 重三郎 TEL (03)5360—2011
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 2 月 14 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期の連結業績（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 3 四半期	22,505	△0.8	620	61.8	555	65.8	2,044	—
22 年 3 月期第 3 四半期	22,688	14.4	383	—	334	—	159	—

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23 年 3 月期第 3 四半期	87	16	—	—
22 年 3 月期第 3 四半期	6	79	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23 年 3 月期第 3 四半期	56,671		26,877		47.3		1,145	99
22 年 3 月期	43,340		25,075		57.7		1,065	74

（参考）自己資本 23 年 3 月期第 3 四半期 26,805 百万円 22 年 3 月期 24,996 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第 1 四半期		第 2 四半期		第 3 四半期	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22 年 3 月期	—	—	—	—	—	5 00	5 00	—
23 年 3 月期	—	—	—	—	—	—	—	—
23 年 3 月期（予想）	—	—	—	—	—	5 00	5 00	—

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（％表示は、対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	41,500	33.9	3,000	237.0	2,900	256.6	4,100	753.6	174	81

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
 新規 一社 () 除外 一社 ()
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 ①会計基準等の改正に伴う変更 : 有
 ②①以外の変更 : 有
 (注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	23,475,630株	22年3月期	23,475,630株
②期末自己株式数	23年3月期3Q	21,926株	22年3月期	21,632株
③期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	23,453,882株	22年3月期3Q	23,454,476株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、6ページ、(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 6
2. その他の情報	P. 6
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、日神不動産株式会社における新築分譲マンションの販売が437戸にとどまったものの、日神住宅サポート株式会社の中古分譲や多田建設株式会社の直販分は好調に推移しました。

この結果、総分譲戸数は545戸となり、連結売上高は22,505百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

なお、グループ全体の分譲事業の詳細は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間

	分譲戸数(戸)	売上高(百万円)	摘要
新築分譲	437	11,423	日神不動産株式会社 (土地売上高245百万円を含む)
中古分譲	89	890	日神住宅サポート株式会社 リノベーション
他	19	535	多田建設株式会社他 多田建設株式会社直販分他
計	545	12,849	

日神不動産株式会社における新築分譲マンションの値引きが前年度の5%から1%程度に縮小したことにより、売上総利益は5,145百万円(前年同期比10.1%増)となりました。営業利益は多田建設株式会社の販売管理費増加分を吸収して620百万円(前年同期比61.8%増)となりました。

第1四半期連結会計期間末に多田建設株式会社を連結したことによる「負ののれん発生益」1,423百万円を特別利益として計上したことにより、四半期純利益は2,044百万円(前年同期159百万円)となりました。

なお、報告セグメントにて区分した場合の売上高は以下のとおりであります。

① 不動産事業

当社グループの主力事業である新築分譲マンションの販売は、9月より供給を開始した「日神パレステージ」(ファミリータイプ)の販売が中心となっております。

第2四半期累計期間における販売の中心となっていた「日神デュオステージ」(シングル、ディンクスタイル)の販売が255戸にとどまったことや、「日神デュオステージ」の販売に時間がかかったために「日神パレステージ」の販売開始が遅れ、累計の販売戸数は437戸にとどまりました。(4ページのブランド別販売状況をご参照下さい)

この結果、売上高は11,745百万円、セグメント損失は175百万円となりました。

(日神不動産株式会社の営業状況)

下記の金額には、いずれも消費税等は含まれておりません。

ア. 分譲戸数の推移

期間(月)	平成21年3月期 (平成20年4月～平成21年3月)				平成22年3月期 (平成21年4月～平成22年3月)				平成22年4月以降		
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12
戸数(戸)	111	214	232	352	322	283	220	268	99	205	133
連結他社 戸数(戸)	—								21	32	55
計(戸)	—								120	237	188

イ. 完成在庫の推移

	平成19年 3月末	平成20年 3月末	平成21年 3月末	平成22年3月期 (平成21年4月～平成22年3月)				平成22年4月以降		
				6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
パレス テージ(戸)	155	345	193	100	97	76	15	6	35	108
デュオス テージ(戸)	18	266	704	572	521	322	225	197	92	92
計(戸)	173	611	897	672	618	398	240	203	127	200

ウ. 未完成在庫(事業支出金)

	平成19年 3月末	平成20年 3月末	平成21年 3月末	平成22年3月期 (平成21年4月～平成22年3月)				平成22年4月以降		
				6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
事業支出金 (百万円)	20,774	29,067	10,778	9,988	8,241	8,917	10,491	11,765	13,343	13,632

事業支出金は主に土地代および建築代金の一部であります。

平成22年12月末に計上している事業支出金にかかる物件の販売計画は、売上高約41,000百万円、戸数約1,200戸となっております。

エ. 契約状況

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)				当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)			
	期中契約高		期末契約残高		期中契約高		期末契約残高	
	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)
分譲マンション	651	14,615,607	139	3,407,216	508	13,744,638	185	5,048,946

オ. 営業収入の内訳

区分	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
不動産販売事業	18,750,961	11,423,994
不動産賃貸事業	190,123	208,314
その他附帯事業	22,205	33,709
合計	18,963,290	11,666,018

カ. 販売の状況

前第3四半期累計期間における戸数及び金額には、日神管理株式会社への販売分が33戸、616,000千円、当第3四半期累計期間における金額には、多田建設株式会社への土地売上高が245,000千円含まれております。

(a) 物件別販売状況

前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年12月31日)		
物件名	戸数 (戸)	金額(千円)	物件名	戸数 (戸)	金額(千円)
日神デュオステージ新中野	47	1,337,006	日神パレスステージ 三ノ輪竜泉	28	951,207
日神デュオステージ押上	52	1,306,385	日神デュオステージ 浅草三筋	35	840,079
日神デュオステージ両国	45	1,144,717	日神パレスステージ田原町	25	838,994
日神デュオステージ 蔵前NEXT	40	1,016,059	日神パレスステージ八広	26	770,638
その他	641	13,946,791	その他	323	8,023,074
合計	825	18,750,961	合計	437	11,423,994

(b) ブランド別販売状況

ブランド名	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年12月31日)	
	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)
日神パレスステージ	176	3,838,494	182	5,379,322
日神デュオステージ	649	14,782,466	255	5,790,591
その他	—	130,000	—	254,080
合計	825	18,750,961	437	11,423,994

(c) 地域別販売状況

地域名	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年12月31日)	
	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)
東京都	653	15,072,760	390	10,088,901
神奈川県	47	1,224,395	15	454,565
埼玉県	68	1,205,851	32	626,446
千葉県	57	1,117,954	—	—
その他	—	130,000	—	254,080
合計	825	18,750,961	437	11,423,994

② 不動産管理事業

不動産管理事業は、マンションの共用部分の管理業を中心として、ビル管理も受託しており、当第3四半期連結会計期間末におけるマンションの管理戸数は24,000戸弱となっております。

管理計画に基づく大規模修繕工事の受注が増加した結果、売上高は2,221百万円、セグメント利益は233百万円となりました。

③ 賃貸管理事業

賃貸管理事業は、賃貸仲介、賃貸物件の管理受託及び賃貸管理に伴う工事売上等、堅調に推移しました。

なお、中古物件の買取り再販を強化しており、当該売上高および戸数は890百万円、89戸となっております。この結果、売上高は2,306百万円、セグメント利益は289百万円となりました。

④ 建設事業

第1四半期連結会計期間末に多田建設株式会社を連結子会社としたことにより、新たに建設事業の売上高を計上しております。マンション等の建設売上に一部土木工事も加え、7月から12月まで6ヶ月間の売上高は5,653百万円、セグメント利益は454百万円となっております。

⑤ ゴルフ場事業

米国のゴルフ場2社は、ゴルフ場資産の全てをゴルフ場運営会社に一括してリースしたことから、ゴルフ場事業から除外しており、株式会社平川カントリークラブのみを対象としております。この結果、売上高は487百万円、セグメント損失は25百万円となりました。

なお、営業外収入として名義書換料を計上しており、経常損益は黒字となっております。

⑥ その他

引き続き、米国のゴルフ場2社はゴルフ場資産を全て一括して賃貸しております。日神ファインナス株式会社は、小口の保証業務以外は新規融資を行っておらず、縮小均衡を目指しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 総資産

主に多田建設株式会社を連結子会社としたことにより、現金及び預金、完成工事未収入金、未成工事支出金等が増加したこと及び、新規の分譲用地仕入を強化したことにより、不動産事業支出金が増加した結果、総資産は56,671百万円（前連結会計年度末比30.8%増）となりました。

② 負債

総資産と同様に多田建設株式会社を連結子会社としたことにより、工事未払金、更生債権等が増加したこと及び、新規の分譲用地仕入に伴い借入金が増加した結果、負債合計は29,793百万円（前連結会計年度末比63.1%増）となりました。

③ 純資産

純利益の計上による利益剰余金の増加に伴い、純資産合計は26,877百万円(前連結会計年度末比7.2%増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に影響が大きい、日神不動産株式会社 単体の業績予想に関して、第3四半期累計期間までの売上高は11,666百万円であり、期末予想売上高である25,300百万円との乖離があります。

当期は、第4四半期に分譲物件の供給開始が170戸以上あることや第4四半期に竣工物件が350戸弱あることから、現時点での予想修正は行っておりません。第4四半期における販売状況が明らかになった時点で、必要に応じ修正発表を行います。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

【会計処理基準に関する事項の変更】

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

これにより第3四半期連結累計期間の財務諸表に与える影響は軽微であります。

「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」「連結財務諸表に関する会計基準」「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」「事業分離等に関する会計基準」「持分法に関する会計基準」「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」を適用しております。

【表示方法の変更】

(四半期連結貸借対照表関係)

前第3四半期連結累計期間において、流動資産「受取手形及び売掛金」、流動負債「支払手形及び買掛金」として表示していた科目について、多田建設株式会社を子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、それぞれ流動資産「受取手形・完成工事未収入金等」、流動負債「支払手形・工事未払金等」として表示することといたしました。

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,722,207	13,043,964
受取手形・完成工事未収入金等	4,115,816	389,586
有価証券	99,910	99,910
販売用不動産	4,319,771	5,178,049
不動産事業支出金	18,070,801	10,491,408
未成工事支出金	916,653	16,841
商品	3,585	8,199
短期貸付金	10,655	545,037
その他	1,279,804	740,335
貸倒引当金	△592,445	△3,429
流動資産合計	43,946,760	30,509,902
固定資産		
有形固定資産	9,491,451	9,615,117
無形固定資産		
のれん	557,732	645,795
その他	80,275	69,612
無形固定資産合計	638,007	715,407
投資その他の資産	2,594,810	2,500,183
固定資産合計	12,724,269	12,830,708
資産合計	56,671,030	43,340,610
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,408,146	1,241,755
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
短期借入金	8,176,959	7,315,737
未払法人税等	41,299	176,083
引当金		
賞与引当金	64,011	93,916
完成工事補償引当金	234,734	—
更生債権	1,077,612	—
その他	3,882,479	2,372,175
流動負債合計	16,899,243	11,213,668
固定負債		
社債	79,000	86,000
長期借入金	6,563,808	4,781,348
引当金		
退職給付引当金	1,377,397	471,816
役員退職慰労引当金	259,970	254,160
債務保証損失引当金	472,452	467,485
更生債権	3,196,016	—
その他	945,329	990,561
固定負債合計	12,893,974	7,051,371
負債合計	29,793,218	18,265,039

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,111,411	10,111,411
資本剰余金	426,578	426,578
利益剰余金	16,839,907	14,912,883
自己株式	△24,627	△24,466
株主資本合計	27,353,269	25,426,406
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,578	10,612
為替換算調整勘定	△563,461	△441,008
評価・換算差額等合計	△547,883	△430,395
少数株主持分	72,425	79,560
純資産合計	26,877,812	25,075,571
負債純資産合計	56,671,030	43,340,610

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	22,688,035	22,505,131
売上原価	18,012,405	17,359,138
売上総利益	4,675,629	5,145,992
販売費及び一般管理費	4,292,052	4,525,411
営業利益	383,577	620,580
営業外収益		
受取利息	16,781	11,747
受取配当金	3,667	4,074
受取手数料	48,100	65,800
持分法による投資利益	18,984	—
その他	99,187	107,899
営業外収益合計	186,719	189,521
営業外費用		
支払利息	232,236	245,415
その他	3,171	9,435
営業外費用合計	235,407	254,851
経常利益	334,888	555,250
特別利益		
固定資産売却益	13,258	—
貸倒引当金戻入額	—	118,748
債務保証損失引当金戻入額	—	5,109
負ののれん発生益	—	1,423,926
その他	0	88,395
特別利益合計	13,258	1,636,180
特別損失		
減損損失	—	21,550
投資有価証券評価損	—	21,857
出資金評価損	1,500	—
貸倒引当金繰入額	2,100	5,030
その他	303	14,369
特別損失合計	3,903	62,808
税金等調整前四半期純利益	344,244	2,128,621
法人税、住民税及び事業税	178,716	99,116
法人税等調整額	15,172	△8,053
法人税等合計	193,889	91,063
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,037,558
少数株主損失(△)	△8,915	△6,735
四半期純利益	159,270	2,044,294

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	344,244	2,128,621
減価償却費	176,224	189,162
減損損失	—	21,550
負ののれん発生益	—	△1,423,926
のれん償却額	88,063	88,063
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25,602	△127,469
受取利息及び受取配当金	△20,448	△15,821
支払利息	232,236	245,111
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	21,857
売上債権の増減額 (△は増加)	681,196	△588,757
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,313,957	△3,863,682
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,516,269	1,715,899
持分法による投資損益 (△は益)	△18,984	—
その他	△441,885	1,261,734
小計	5,863,937	△347,658
利息及び配当金の受取額	18,412	14,817
利息の支払額	△200,856	△223,490
法人税等の支払額	△258,892	△321,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,422,600	△877,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	200,000	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	△61,500
投資有価証券の売却による収入	—	500
関係会社株式の取得による支出	△105,500	—
関係会社株式の売却による収入	124,484	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	3,030,031
短期貸付けによる支出	—	△3,203
貸付金の回収による収入	3,600	7,001
有形及び無形固定資産の取得による支出	△23,535	△82,754
有形及び無形固定資産の売却による収入	49,629	—
定期預金の預入による支出	△16,110,000	△22,070,000
定期預金の払戻による収入	15,380,000	17,390,000
その他の支出	△272,138	△34,745
その他の収入	60,698	54,561
投資活動によるキャッシュ・フロー	△702,762	△1,770,110

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	815,322	1,903,976
短期借入金の返済による支出	△76,602	△1,071,323
長期借入れによる収入	5,593,800	5,319,574
長期借入金の返済による支出	△11,474,134	△3,487,440
社債の償還による支出	—	△7,000
短期更生債権の返済による支出	—	△665,945
長期更生債権の返済による支出	—	△1,166,924
自己株式の取得による支出	△184	△161
配当金の支払額	△118,052	△117,115
その他	△53,981	△62,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,313,832	645,615
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,585	567
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△595,579	△2,001,757
現金及び現金同等物の期首残高	5,484,157	7,493,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,888,577	5,492,207

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	不動産事業	建設事業	信用保証業	ゴルフ場事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	21,338,951	571,459	86,817	690,806	22,688,035	—	22,688,035
(2) セグメント間の内部売上高	9,413	5,934	—	—	15,348	△15,348	—
計	21,348,365	577,394	86,817	690,806	22,703,383	△15,348	22,688,035
営業利益又は営業損失(△)	529,567	41,774	△30,265	△159,901	381,174	2,402	383,577

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、市場における類似性により区分しております。

2. 各事業区分に属する主要内容

- (1) 不動産事業 マンションの販売、不動産の賃貸、仲介、不動産管理等を行っております。
- (2) 建設事業 住宅のリフォーム及び営繕等を行っております。
- (3) 信用保証業 マンションの購入者の一部に対してローンの保証及び住宅資金の貸付を行っております。
- (4) ゴルフ場事業 ゴルフ場の運営を行っております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務報告が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、マンション分譲を行う不動産事業、建設工事の企画、設計、監理及び施行を行う建設事業、マンションの管理やそれに伴う大規模修繕工事を行う不動産管理事業、賃貸仲介や賃貸管理及びリフォームを行う賃貸管理事業、ゴルフ場事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1.	合計
	不動産事業	建設事業 (注) 2.	不動産 管理事業	賃貸 管理事業	ゴルフ場 事業	計		
売上高								
外部顧客に対する売上高	11,745,710	5,653,039	2,221,512	2,306,786	487,071	22,414,119	91,011	22,505,131
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	55,390	2,512,379	33,252	24,699	—	2,625,722	671	2,626,394
計	11,801,101	8,165,418	2,254,765	2,331,485	487,071	25,039,842	91,683	25,131,525
セグメント利益 又は損失(△)	△175,682	454,628	233,868	289,301	△25,248	776,867	△69,020	707,846

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸ゴルフ場事業、信用保証業を含んでおります。

2. 第1四半期連結会計期間末日に、多田建設株式会社を連結子会社としたため、第2四半期連結会計期間より報告セグメントに建設セグメントを追加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	776,867
「その他」の区分の損失(△)	△69,020
セグメント間取引消去	407
のれんの償却額	△88,063
その他の調整額	389
四半期連結損益計算書の営業利益	620,580

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。